

2026年度 第1四半期決算 通期業績予想



2026年8月3日



東証プライム市場 5703

26/6/15公表 アルミ押出事業の統合に関する基本合意について

株式会社神戸製鋼所と27年4月以降を目途に両社の国内アルミ押出事業の統合、及び具体的な条件検討を進める基本合意書を締結

➡ 26年11月末頃、最終契約締結を予定

本統合目的

- ・両社強みの融合で持続的な事業成長と企業価値向上
- ・両社強みの組合せで高付加価値製品を創出
- ・ロケーションを考慮したスクラップ回収最適化でリサイクル効率向上
- ・ロケーションスワップ活用で最適生産・物流体制構築

	当社	神戸製鋼所
押出製品 販売先	輸送機器、社会インフラ、 容器等幅広い分野	自動車部品を中心に鉄 道車両や店売向け
強み	・優れた加工技術 ・多様な分野で培ってき た受注実績	・高度な合金開発力 ・幅広い供給体制を活か して自動車分野を牽引

本統合基本条件

下記を基本に、両社で誠実に協議の上決定

	当社	神戸製鋼所
対象範囲	・日軽金アクト全事業 ・日軽金アクト新潟工 場・蒲原工場(静岡 県)の生産品目に関 する部門と押出事業 関連部門	・長府製造所(山口 県)のアルミ押出・ビ レット鑄造・加工品に 関する部門 ・国内アルミ押出事 業関連営業部門
統合方法	共同持株会社の形態を想定	
統合期日予定	2027年4月以降	
統合後出資比率	当社が過半数の割合を占める基本方針	

<https://www.nikkeikinholdings.co.jp/news/news/common/pdf/p2026061501hd.pdf>

2026年度 第1四半期決算、中間期・通期業績予想 サマリー

- 第1四半期決算 経常利益99億円(前年同期比+133%)
- 業績予想修正 経常利益 中間期160億円(5/15予想120億円)、通期310億円(同250億円)
- 配当予想修正 中間期40円→50円、年間100円→110円に

1. 第1四半期決算

- 販売面：二次合金の需要環境良好、半導体製造装置向け厚板回復、化成品及び箔、粉末製品の放熱向けとLIB向け板材好調維持に加え、アルミ市況上昇により増収
- 採算面：アルミナ・化成品、地金と板、押出製品での上記増販、アルミ市況上昇影響で大きく増益
- 中東情勢影響：限定的(トラック架装減販)、原材料価格上昇影響は販価改定で対応

2. 中間期・通期業績予想

- 上期は1Q基調継続、下期は下記に加えアルミ市況巡航推移(差益発現無し)、不透明要素も勘案
- 販売面は二次合金・半導体関連・放熱向けの好調維持、トラック架装の挽回もあり増収基調継続
- アルミ市況は1Q後半でピークアウトも依然高水準、下期は同水準巡航で差益・差損発現無し
- 原材料価格上昇によるコスト影響と販価改定の効果発現を織り込み

中東情勢の影響

- アルミ市況変動影響：上期発現(川上は益側・加工は損側)、下期は発現無しを想定
- 輸送機器事業G(トラック架装 日本フルハーフ)で一時的に減産影響も挽回策前倒しで5月予想ほど稼働下がらず ➡ 2Q以降は通常生産量回復、挽回生産で巻き返し

要素	事業グループ (セグメント)	影響	対応策
原燃料価格	■ 全事業グループ (全セグメント)	■ アルミ地金価格 1Q上昇(川上分野は地金値差影響で益側、加工分野はコスト上昇で損側)、6月にピークアウトも高水準で巡航(2Qは影響収束、下期は影響発現無しを想定) ■ 原油関連製品価格、他原材料、諸資材、輸送等価格上昇	■ 販売価格改定 (5ページ記載)
生産活動	■ 輸送機器(加工製品・関連事業) ■ 他事業グループ	■ 原油・ナフサ由来一部材料(塗料等)供給不安定で一部製品の生産減少・一時的な生産停止も、稼働は想定ほど下がらず ➡ 7月より通常生産量に、8月より挽回生産を開始 ■ 一部材料での調達滞りも代替策で影響回避	■ 代替品含む安定調達 ■ 挽回生産

販売価格改定実施状況

輸送機器事業グループでの販価改定実施に加え、化成品事業グループ、軽圧事業グループ（日軽金・板、日軽金アクト）等でも実施

セグメント	事業グループ／部門	価格改定対象	開始時期	改定内容
● アルミナ・化成品、地金	化成品事業グループ 日軽金・化成品	● 水酸化アルミニウム、アルミナ	24年	— 10%以上値上げ
			25年	— 20円/kg～30円/kg値上げ
			26年	— 10%以上値上げ Add
● 板、押出製品	軽圧事業グループ 日軽金・板	● 全てのアルミニウム板製品	24年	— 加工賃(ロールマージン価格):値上げ
			26年(7月)	— コスト増加分を製品価格に転嫁 Add
	軽圧事業グループ 日軽金アクト	● アルミニウム押出製品全般	25年	— 加工賃(ロールマージン価格):値上げ
			26年(8月)	— 個別取引ごとに改定 Add
● 加工製品、関連事業	輸送機器事業グループ 日本フルハーフ	● バンボデー、トレーラ等全製品、部品 ● バンボデー、トレーラ等全製品、部品全般	23年・24年	— 製品、部品各々の改定率で値上げ
			26年4月 (部品は10月)	— 製品:約15%値上げ — 部品:10～20%値上げ
● 箔、粉末製品	箔事業グループ 東洋アルミニウム	● 樹脂・紙原料の家庭用商品 ● 箔・加工品、パウダー・ペースト全品種	23年	— 20%以上
			25年	— 労務費上昇分+個別対応で値上げ

目次

1. 2026年度 第1四半期決算

2. 2026年度 中間期・通期業績予想

2026年度第1四半期決算 – 前年同期比

二次合金の需要環境良好、半導体製造装置向け厚板の需要回復による増販に加え、アルミ市況価格上昇による差益発現の影響もあり、大きく増益。

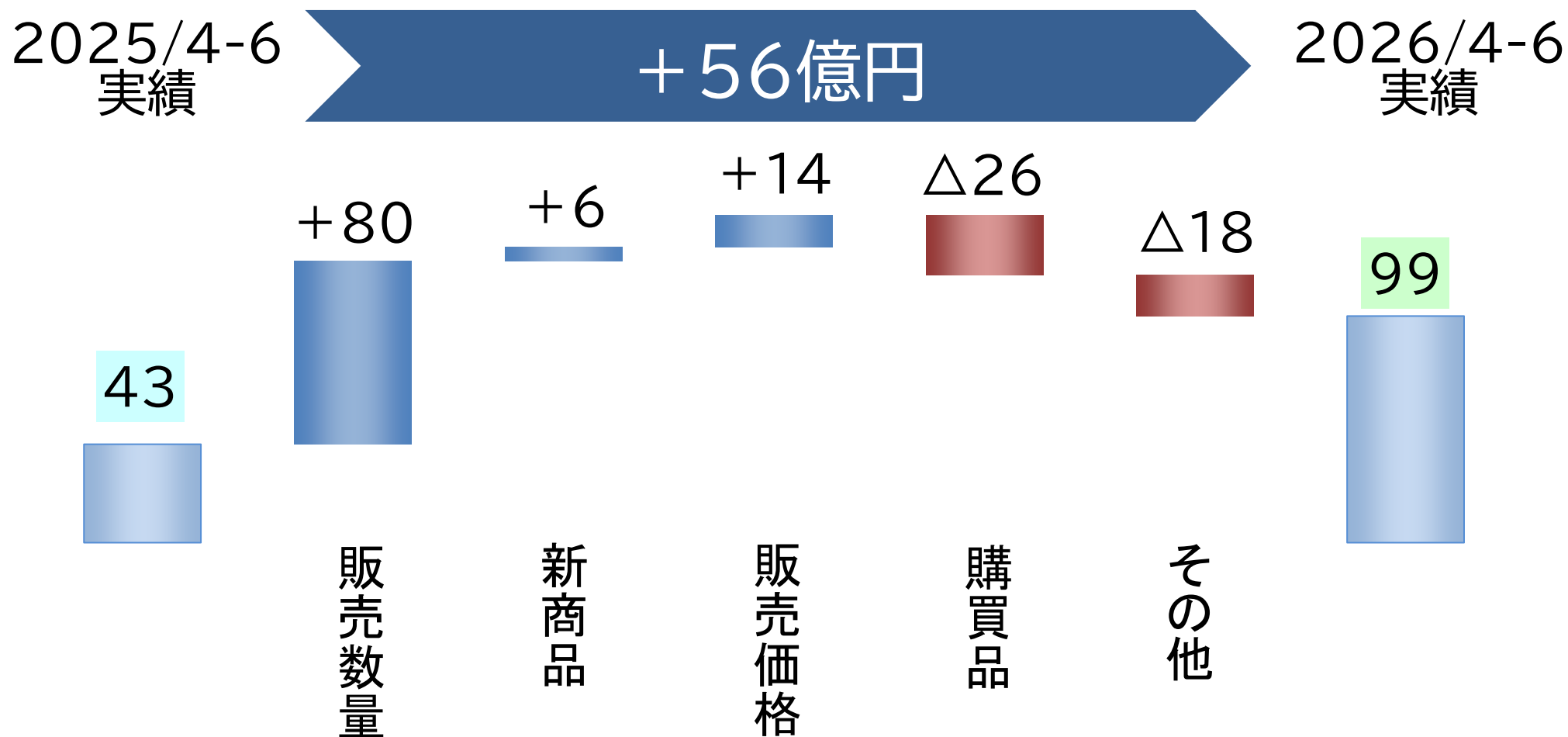
(億円)

	2025/4-6 実績	2026/4-6 実績	増減
売上高	1,371	1,663	+292 (+21.3%)
営業利益	52	106	+54 (+102.8%)
経常利益	43	99	+56 (+132.7%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21	62	+41 (+190.3%)

2026年度 第1四半期決算

経常利益変化要因 – 前年同期比

板(半導体製造装置向け厚板等)や箔、粉末(放熱用途)等の増販効果に加え、アルミ地金価格上昇による差益・二次合金相場環境影響(販売数量影響の内数)が利益を押し上げ



2026年度 第1四半期決算 財政状態

■ アルミ地金価格上昇影響により棚卸資産、借入金が増加

(億円)

	25年度 期末実績	26年度 第1四半期実績	増減
現金及び預金	331	385	+54
受取手形、売掛金及び契約資産	1,538	1,447	△91
棚卸資産	1,102	1,233	+131
その他の流動資産	157	172	+15
有形固定資産	1,798	1,799	+1
その他の固定資産	637	642	+5
資産合計	5,563	5,678	+115

	25年度 期末実績	26年度 第1四半期実績	増減
支払手形及び買掛金	599	632	+33
社債及び借入金	1,660	1,744	+84
その他の負債	625	571	△54
負債合計	2,884	2,947	+63
株主資本	2,247	2,275	+28
その他の包括利益累計額	240	260	+20
非支配株主持分	192	196	+4
純資産合計	2,679	2,731	+52
負債及び純資産合計	5,563	5,678	+115

セグメント情報 – 前年同期比

以下、セグメントに関する記載方式の変更(参照 P26補足資料)により、セグメント構成組替え後の数値、比較で記載

- アルミナ・化成品、地金：二次合金好調、放熱向け高水準、アルミ市況上昇影響で増益
- 板、押出製品：半導体製造装置向け厚板回復、LIB向け好調維持とアルミ市況影響で増益

(億円)

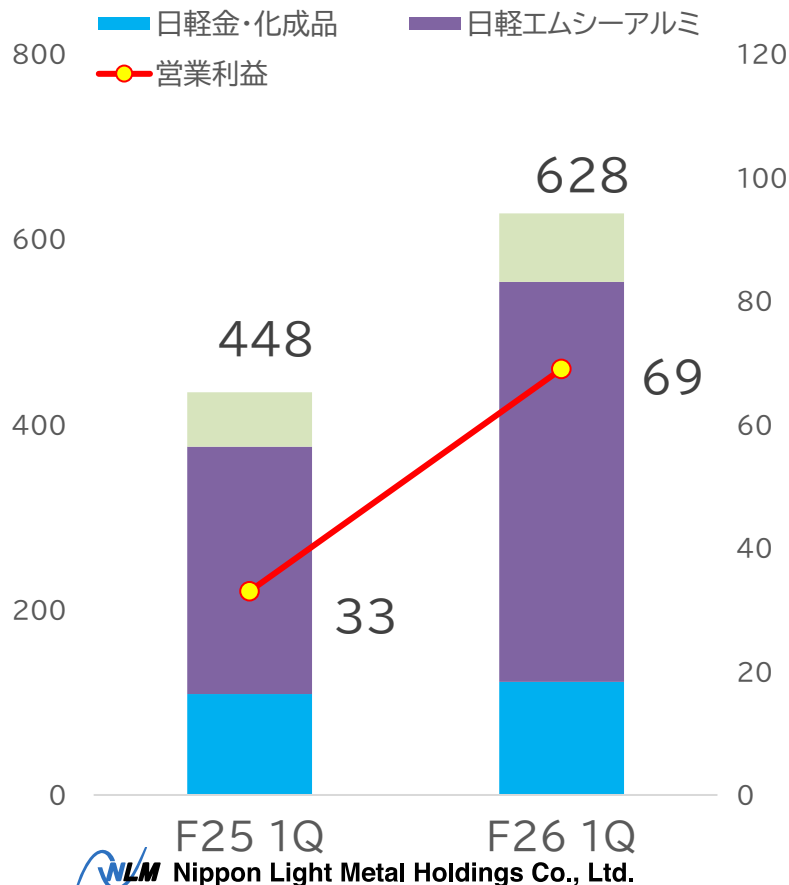
	売上高			営業利益		
	2025/4-6 実績	2026/4-6 実績	増減	2025/4-6 実績	2026/4-6 実績	増減
アルミ・化成品、 地金	448	628	+180 (+40.3%)	33	69	+36 (+106.8%)
板、押出製品	253	327	+74 (+29.4%)	7	21	+14 (+208.6%)
加工製品、 関連事業	392	395	+3 (+0.7%)	△1	△4	△3 (-)
箔、粉末製品	278	313	+35 (+12.5%)	22	29	+7 (+34.6%)
管理・共通	—	—	—	△9	△9	±0
合計	1,371	1,663	+292 (+21.3%)	52	106	+54 (+102.8%)

2026年度 第1四半期決算 アルミナ・化成品、地金

- 化成品：放熱需要高水準・半導体製造装置向け販売増、販価改定効果により増益
- メタル：二次合金が国内・海外とも需要環境良好、加えてアルミ市況上昇影響で増益

売上高(億円)

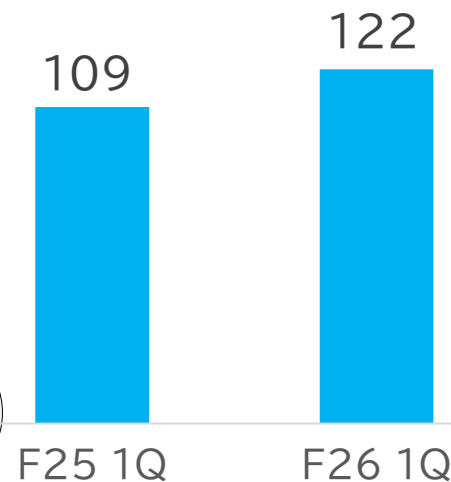
営業利益(億円)



化成品事業グループ
化成品部門(日軽金・化成品)

- 水酸化アルミニウム・アルミナは耐火向け等弱含みも放熱向けの高水準継続に加え、半導体製造装置向けの増販、化学品の無機塩化物の販売回復で増収
- 原材料コスト上昇も販価改定効果もあり増益

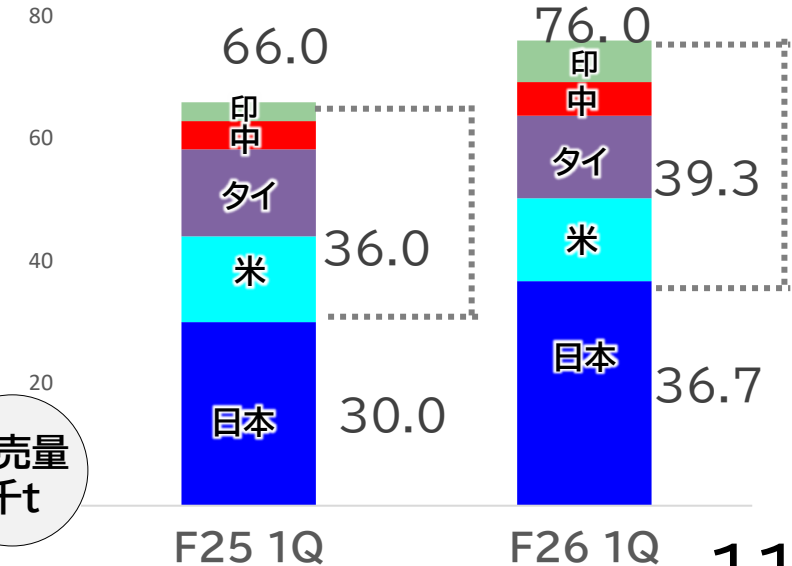
売上高
億円



メタル事業グループ
二次合金部門(日軽エムシーアルミ)

- 日本 国内自動車関連での受注増と中東情勢影響による海外品の代替需要もあり販売増
- 海外 米国は需要環境良好継続、タイは堅調継続、中国は低調基調も前年同期上回る販売、インドは中東情勢影響による需要増もあり増販

販売量
千t

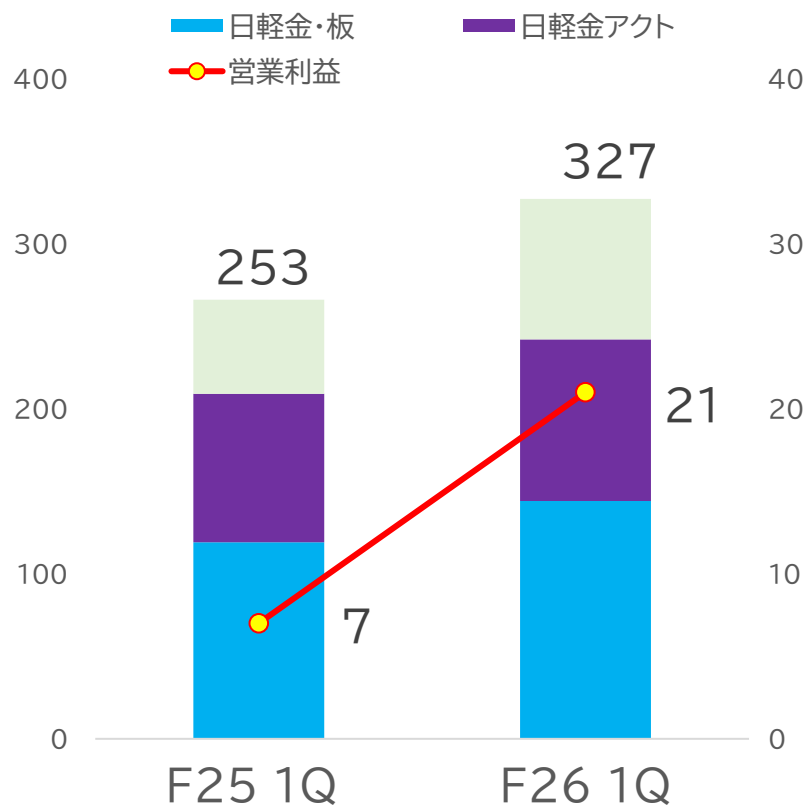


2026年度 第1四半期決算 板、押出製品

板は半導体製造装置向け厚板が需要回復、LIB向けケース材は好調継続。押出はトラック架装向け需要良好で増販。加えて、アルミ市況反映の販価上昇影響で増収・増益に

売上高(億円)

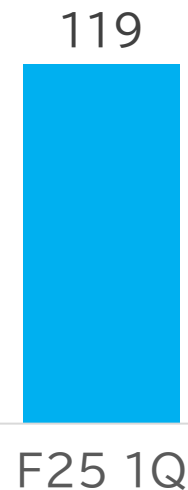
営業利益(億円)



軽圧事業グループ
板部門(日軽金・板)

- 半導体製造装置向け厚板の需要回復とリチウムイオン電池ケース向け好調維持で前年同期比増収
- 上記増販に加え、アルミ市況反映の販売価格上昇影響で増益

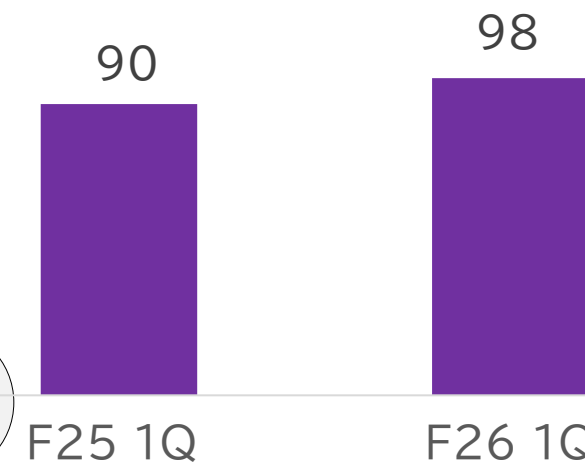
売上高
億円



軽圧事業グループ
押出部門(日軽金アクト)

- トラック架装向けは需要環境良好による販売堅調で前年同期上回る販売に
- アルミ市況反映の販売価格上昇の影響で前年同期を上回る利益に

売上高
億円



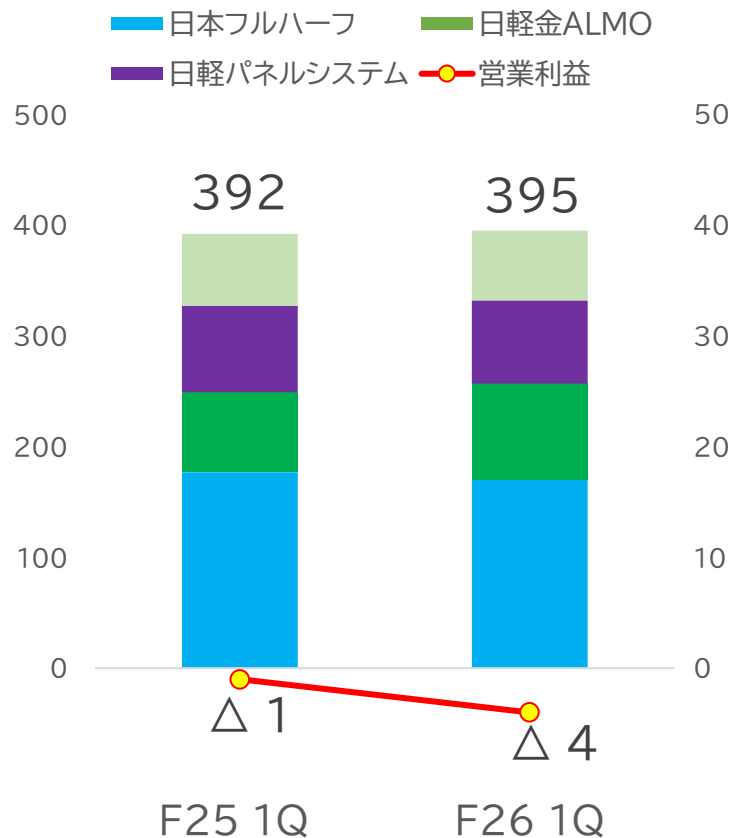
2026年度 第1四半期決算

加工製品、関連事業

自動車部品が新商品増・販価適正化等で業績改善も、輸送機器(トラック架装)は中東情勢影響(塗料不足)で減販、エンジニアリングのパネルシステムはクリーンルーム反動減でセグメント利益は損失に

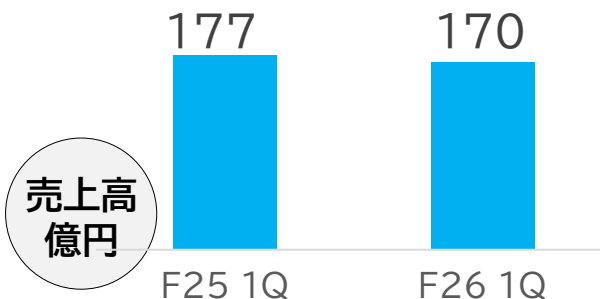
売上高(億円)

営業利益(億円)



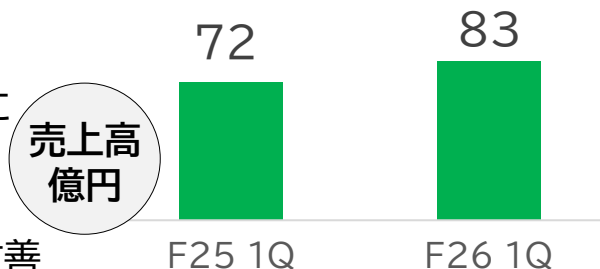
輸送機器事業グループ(日本フルハーフ)

- 受注高水準も中東情勢影響での塗料不足による減産で販売減を強いられ、減販
- 減販影響に加え、材料価格上昇影響もあり減益



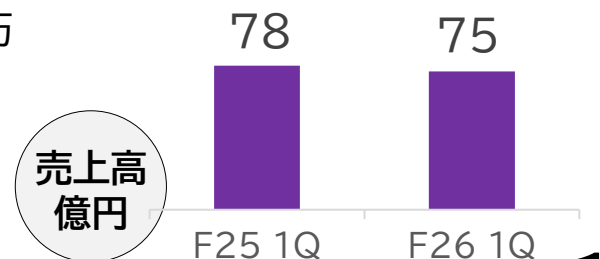
自動車部品事業グループ(日軽金ALMO)

- 日本: 新規案件・新商品増加による増販・品種構成改善に加え販売価格適正化により業績改善継続
- 海外: 中国低調継続、米国は数量増・生産性UPで利益改善



エンジニアリング事業グループ パネルシステム部門(日軽パネルシステム)

- 冷凍・冷蔵分野: 食品工場・冷凍冷蔵倉庫の増設や老朽化による建替え需要で販売増
- クリーンルーム分野: 半導体関連の設備投資需要は継続も前期に大規模物件集中の反動減もあり販売減



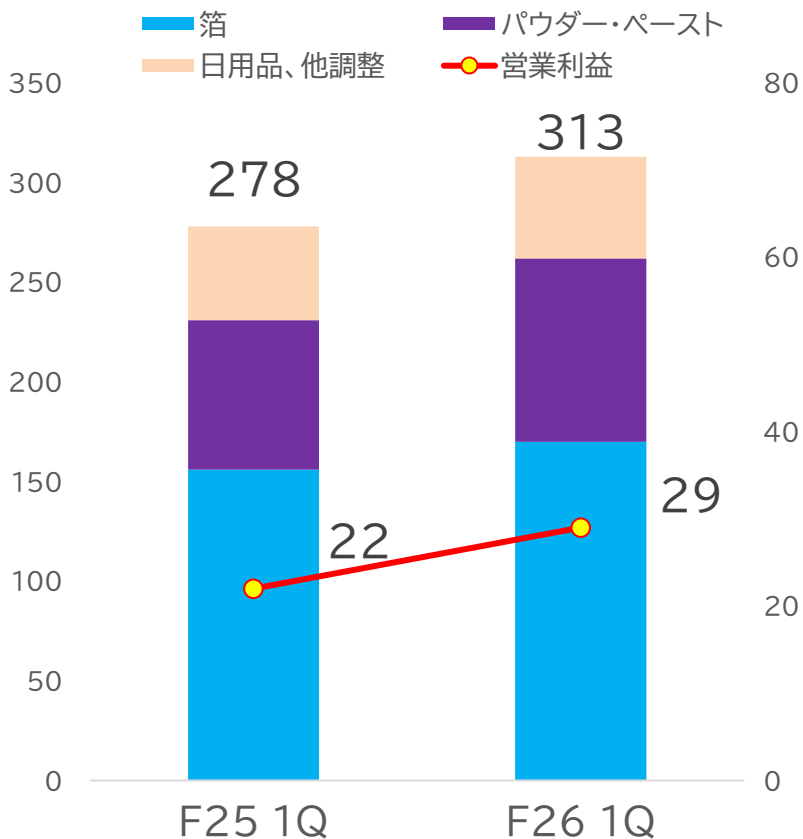
2026年度 第1四半期決算

箔、粉末製品

箔はLIB外装用箔がF25上期での一時的増販から再び調整局面で減販も医薬包材向けが増販に転じ、パウダー・ペーストは放熱用途好調継続と自動車塗料向け需要増で増収増益

売上高(億円)

営業利益(億円)



箔事業グループ(東洋アルミニウム) 箔部門

- リチウムイオン電池外装用箔は調整局面の基調変わらず、F25上期での一時的増販から減販に。医薬包材向け加工箔は前年度の調整局面による減販から増販となったのに加え、アルミ地金価格上昇もあり、部門全体では前年同期上回る売上高に

パウダー・ペースト部門

- パウダーは放熱用途の電子材アルミパウダー・窒化アルミの需要好調が継続、ペーストは自動車塗料向け需要増加で海外向けの好調継続に加え国内向けの販売増により、前年同期上回る部門売上高に

日用品部門

- コンシューマー向け行楽関連・汚れ防止関連・ハウスクエアとともに販売好調・売上拡大しアルミホイルも増収、パッケージ用品向けは冷食の店頭価格上昇影響も紙容器向けの新規受注あり、部門全体売上高は前年同期上回る

目次

1. 2026年度 第1四半期決算
2. 2026年度 中間期・通期業績予想

2026年度 中間期・通期業績予想

事業環境前提

- 市場環境：総じて1Qの好基調継続を想定、中東情勢等不安定・不透明要素にも考慮
- アルミ地金価格：1Q上昇→ピークアウトも高水準で推移(上期は影響発現、下期は発現無し)を想定

*F25通期業績との比較。アルミ地金価格変動による影響発現分を含む

セグメント	事業グループ(主要部門)	業績基調*	需要環境 上期(2Q)以降想定〔下期追加要素〕
アルミナ・化成品、地金	化成品(日軽金・化成品)		放熱用途好調、半導体製造装置向け回復・増販継続
	メタル(日軽エムシーアルミ)		国内・海外需要環境良好・アルミ地金価格上昇影響の享受継続
板、押出製品	軽圧(日軽金・板)		半導体製造装置向け厚板増販・LIB向け板材需要維持継続
	(日軽金アクト)		トラック架装向け堅調〔+ 半導体製造装置向け回復顕在〕
加工製品、関連事業	輸送機器(日本フルハーフ)		需要良好継続、塗料不足による減販から回復・挽回生産
	自動車部品(日軽金ALMO)		国内:新商品増・品種構成改善・販価適正化、 海外:中国低調・米国生産性改善
	エンジニアリング(日軽パネルシステム)		冷凍・冷蔵向け増販、クリーンルーム向け弱含み〔→回復基調〕
箔、粉末製品	箔(東洋アルミニウム)		医薬包材回復・放熱用途好調・自動車塗料向け需要増の基調継続

2026年度 中間期業績予想

業績予想－ 前年同期比

2Q<1Qも、販売面・採算面ともに好基調の継続を見込む

➡ 今回(26/8/3)、業績予想と中間配当金を修正

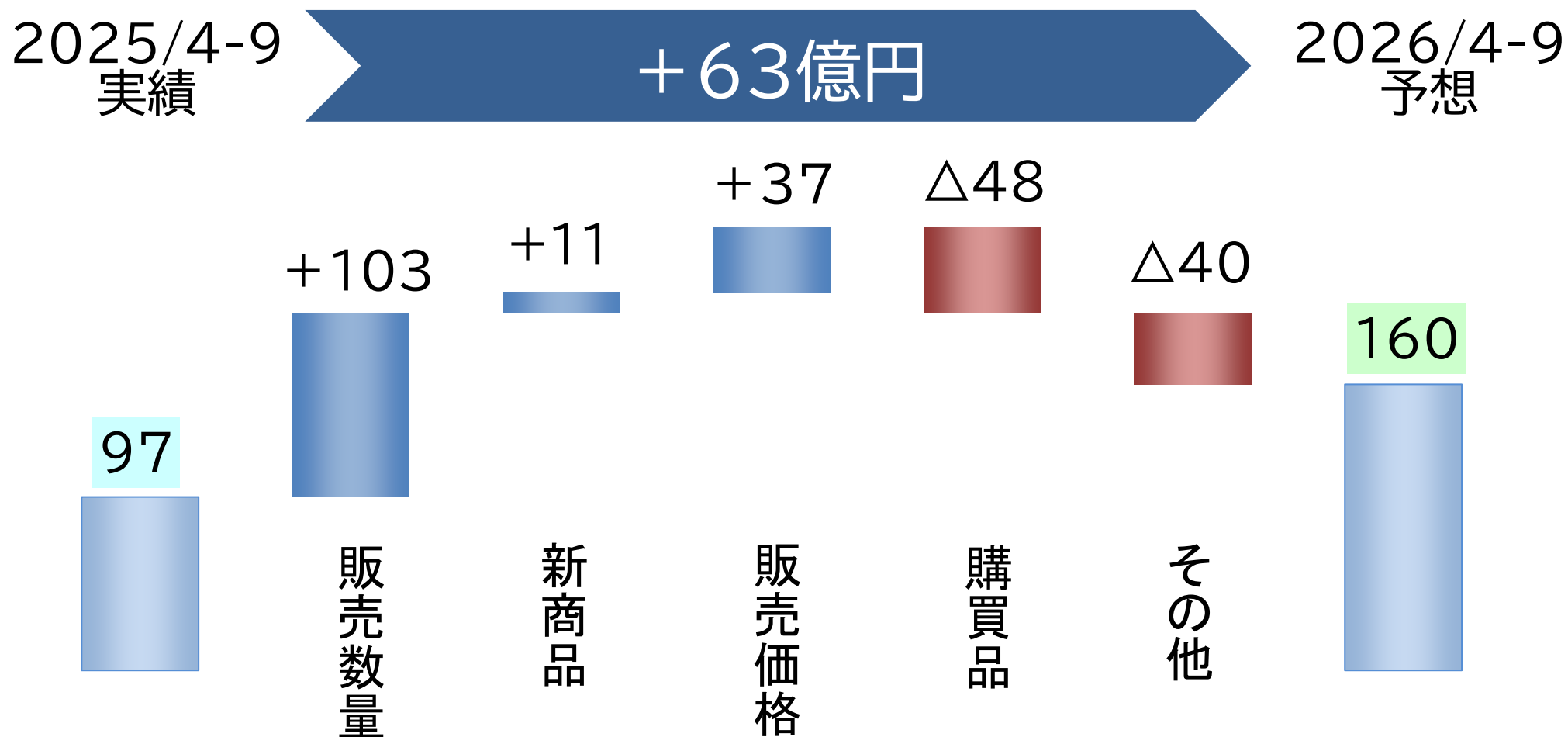
(億円)

	25年度中間期 実績	26年度中間期 5/15予想	26年度中間期 今回8/3予想	増減 前年同期比
売 上 高	2,787	3,300	3,500	+713 (+25.6%)
営 業 利 益	116	130	170	+54 (+45.9%)
経 常 利 益	97	120	160	+63 (+64.3%)
親会社株主に帰属する 中 間 純 利 益	55	80	100	+45 (+82.8%)
1株当たり中間配当金	25円	40円	50円	+25円

2026年度 中間期業績予想

経常利益変化要因 – 前年同期比

板や箔、粉末等での増販、アルミ地金価格上昇による差益発現・二次合金相場環境影響に加え、販売価格改定効果の発現が増益に寄与



2026年度 中間期業績予想

セグメント予想 – 前年同期比

- アルミナ・化成品、地金：化成品は放熱用途、二次合金は国内・海外とも需要環境良好
- 板、押出製品：半導体製造装置向け厚板回復・増販、LIB向けケース材高水準維持

(億円)

	中間期売上高				中間期営業利益			
	25年度 実績	26年度 5/15予想	26年度 今回8/3予想	増減 前年同期比	25年度 実績	26年度 5/15予想	26年度 今回8/3予想	増減 前年同期比
アルミナ・化成品、 地金	907	1,220	1,330	+423 (+46.6%)	67	95	120	+53 (+79.1%)
板、押出製品	510	600	690	+180 (+35.3%)	14	30	30	+16 (+114.3%)
加工製品、 関連事業	814	860	850	+36 (+4.4%)	14	△10	0	△14 (－)
箔、粉末製品	556	620	630	+74 (+13.4%)	37	35	40	+3 (+7.0%)
管理・共通	—	—	—	—	△16	△20	△20	△4
合 計	2,787	3,300	3,500	+713 (+25.6%)	116	130	170	+54 (+45.9%)

2026年度 通期業績予想

業績予想・配当予想－ 前期比

上期＞下期も、総じて1Q・中間期での好基調の継続を想定

➡ 今回(26/8/3)、業績予想と年間配当金を修正

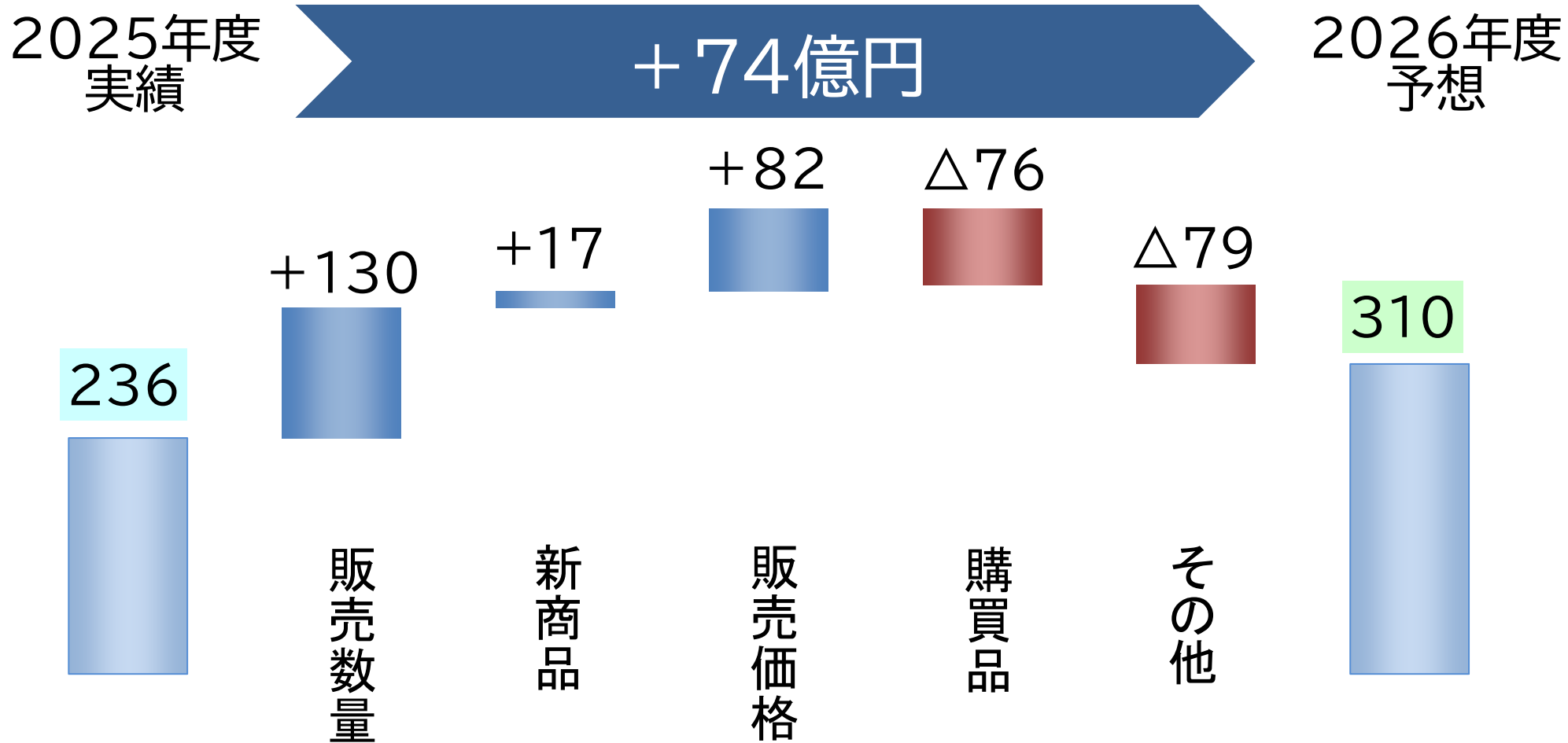
(億円)

	2025年度 実績	2026年度 5/15予想	2026年度 今回8/3予想	増減 前期比
売上高	5,855	6,900	6,900	+1,045 (+17.9%)
営業利益	256	270	330	+74 (+28.8%)
経常利益	236	250	310	+74 (+31.1%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	156	165	170	+14 (+9.0%)
1株当たり配当金	80円	100円	110円	+30円

2026年度 通期業績予想

経常利益変化要因 – 前期比

アルミ地金価格上昇による差益発現の収束、原材料調達価格の上昇影響増加を想定も
販売価格改定の効果拡大を織り込み



2026年度 通期業績予想

セグメント予想 – 前期比

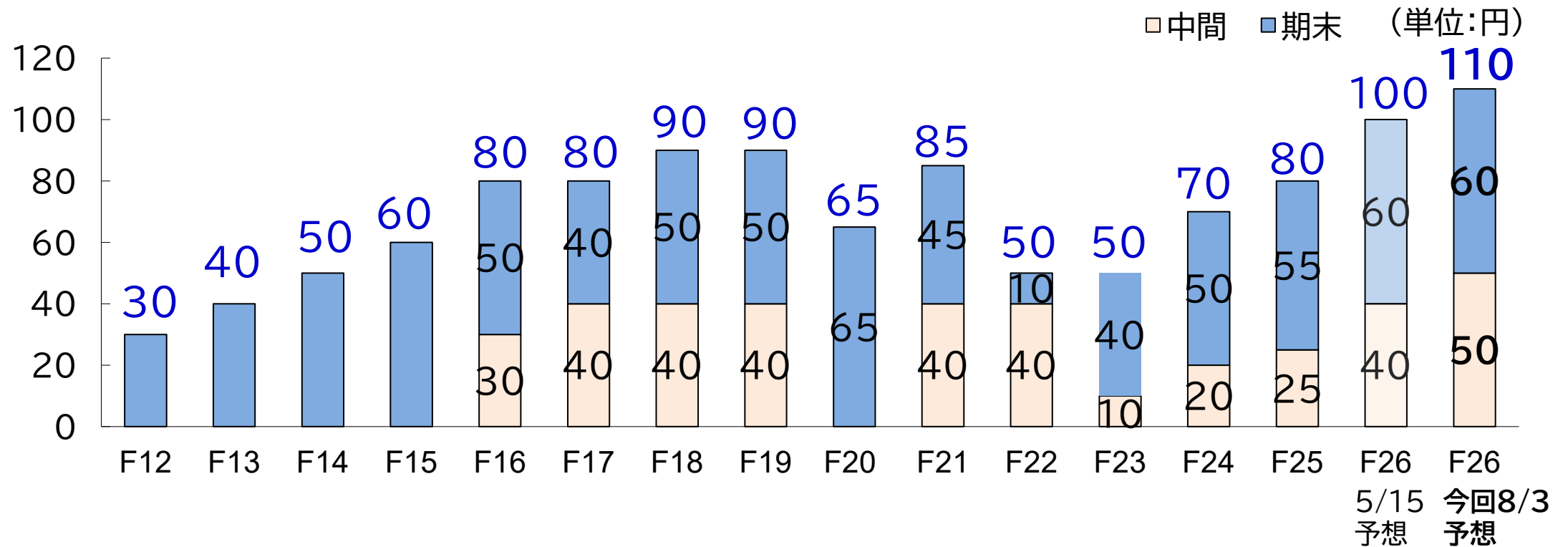
- アルミナ・化成品、地金：化成品は放熱用途で好調継続、二次合金は通期でも需要環境良好
 - 加工製品、関連事業：トラック架装は挽回、断熱パネルの半導体工場向けは回復基調途中
- (億円)

	通期売上高				通期営業利益			
	25年度 実績	26年度 5/15予想	26年度 今回8/3予想	増減 前年同期比	25年度 実績	26年度 5/15予想	26年度 今回8/3予想	増減 前年同期比
アルミナ・化成品、 地金	1,894	2,240	2,370	+476 (+25.1%)	98	150	165	+67 (+68.4%)
板、押出製品	1,054	1,410	1,410	+356 (+33.8%)	57	55	75	+18 (+31.6%)
加工製品、 関連事業	1,777	2,020	1,830	+53 (+3.0%)	60	30	50	△10 (△16.1)
箔、粉末製品	1,130	1,230	1,290	+160 (+14.1%)	77	75	80	+3 (+4.6%)
管理・共通	—	—	—	—	△36	△40	△40	△4
合 計	5,855	6,900	6,900	+1,045 (+17.9%)	256	270	330	+74 (+31.1%)

2026年度 通期業績予想

1株当たり配当金

- 株主還元方針 総還元性向40%程度(自己株式の取得を含む)
- 1株当たり配当金 110円 25年度比30円増配
中間配当50円(5月予想40円)、期末配当60円(5月予想据置き)



当社は2020年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しておりますので、2019年度(2020年3月期)以前の1株当たり配当額については、当該株式併合の影響を考慮した金額としております。

補足資料

報告セグメントと事業グループを構成する部門を一部組替え

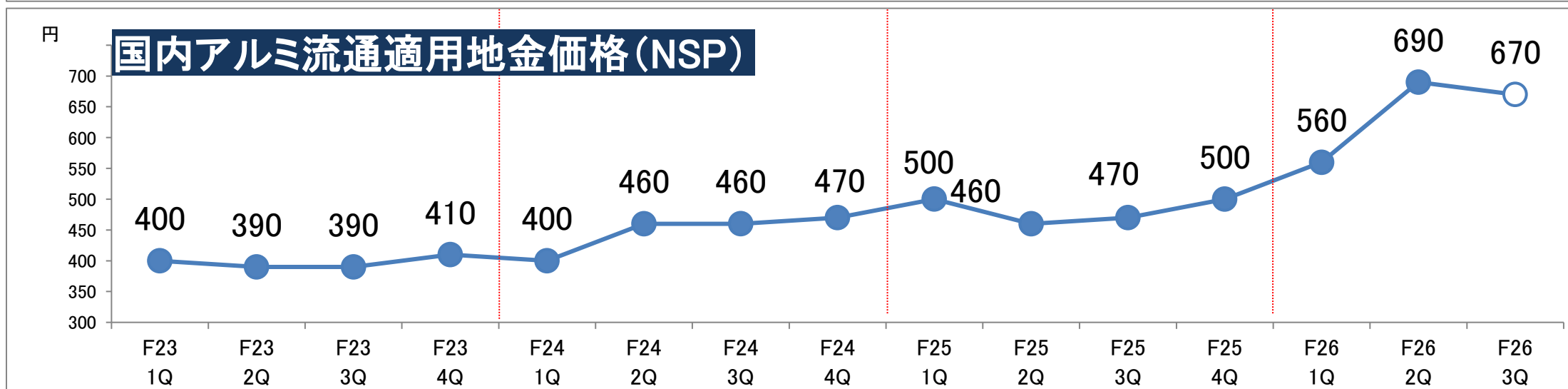
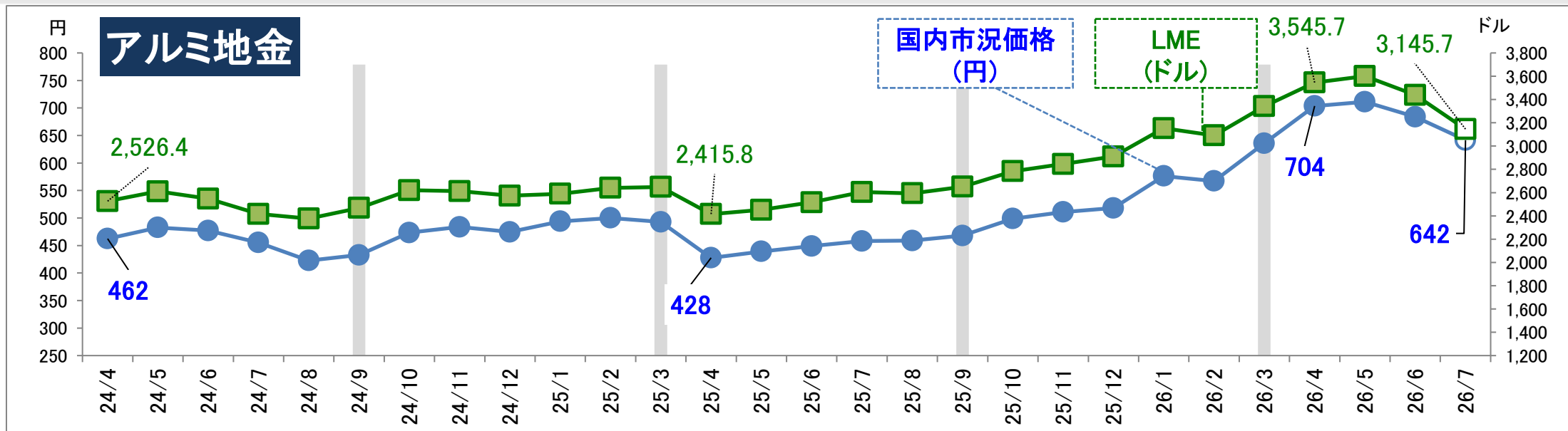
日軽金・電極箔(電子材料部門)を軽圧事業グループからメタル事業グループへ移管、
インフラ事業グループを廃止し事業支援統括室に改組

報告セグメント	事業グループ	主な部門・事業	主要事業会社・事業部門
アルミナ・ 化成品、地金	化成品	・化成品部門 ・炭素製品部門	－日軽金・化成品 －日本電極
	メタル	・二次合金部門 Add・電子材料部門	－日軽エムシーアルミ －日軽金・電極箔
板、押出製品	軽圧	・板部門 ・押出部門	－日軽金・板 －日軽金アクト
		・電子材料部門	－日軽金・電極箔
加工製品、 関連事業	輸送機器	・トラック架装	－日本フルハーフ
	自動車部品		－日軽金ALMO
	エンジニアリング	・パネルシステム部門 ・景観エンジニアリング部門	－日軽パネルシステム －日軽エンジニアリング
		(事業支援統括室)	インフラ事業グループを廃止し、 機能組織(事業支援統括室)に
	箔、粉末製品	箔	・箔部門
・パウダー・ペースト部門			－東洋アルミニウム
・日用品部門			

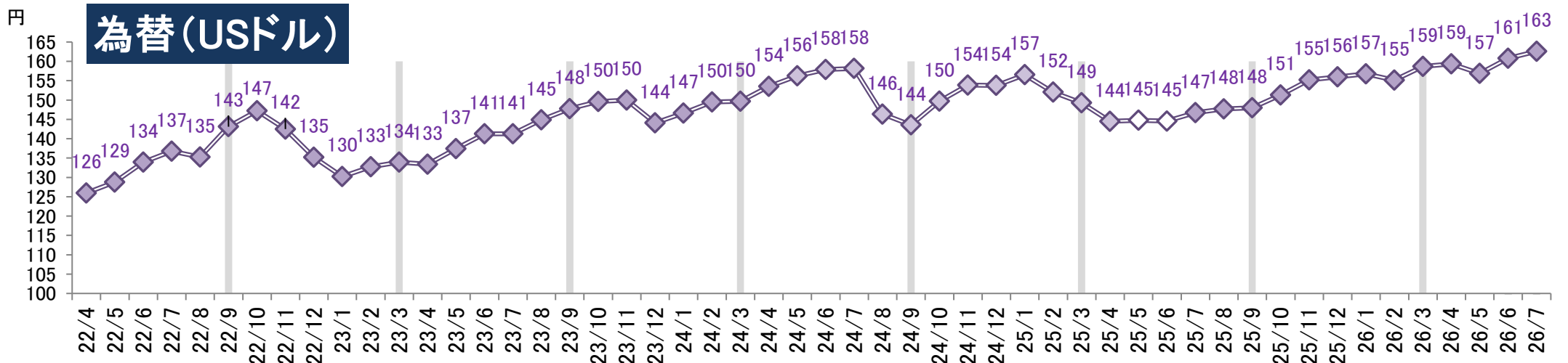
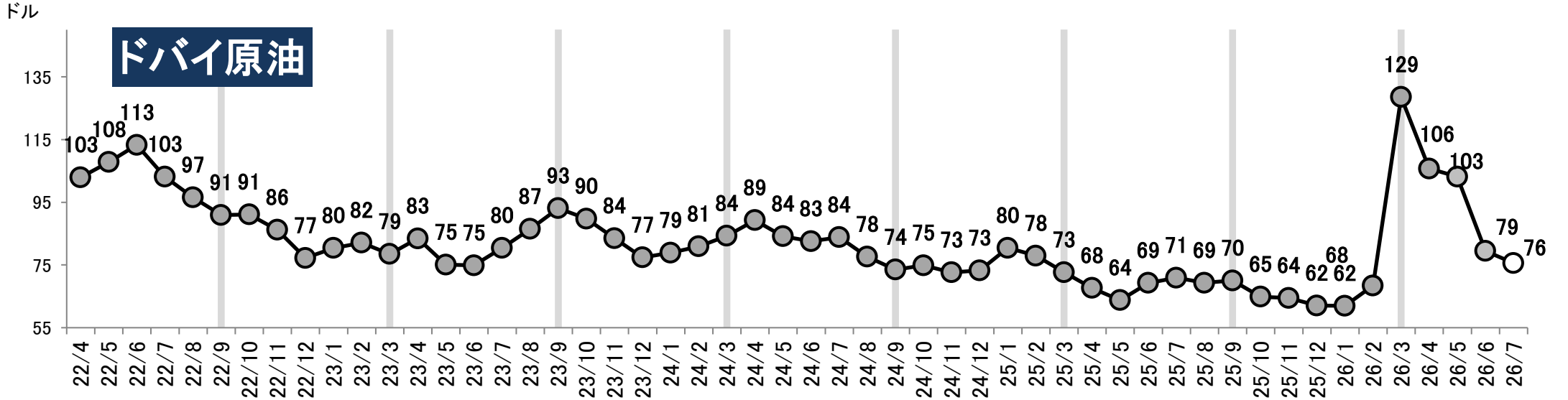
メタル事業グループへ
移管

メタル事業グループへ
移管

アルミ地金価格推移



原油価格・為替推移



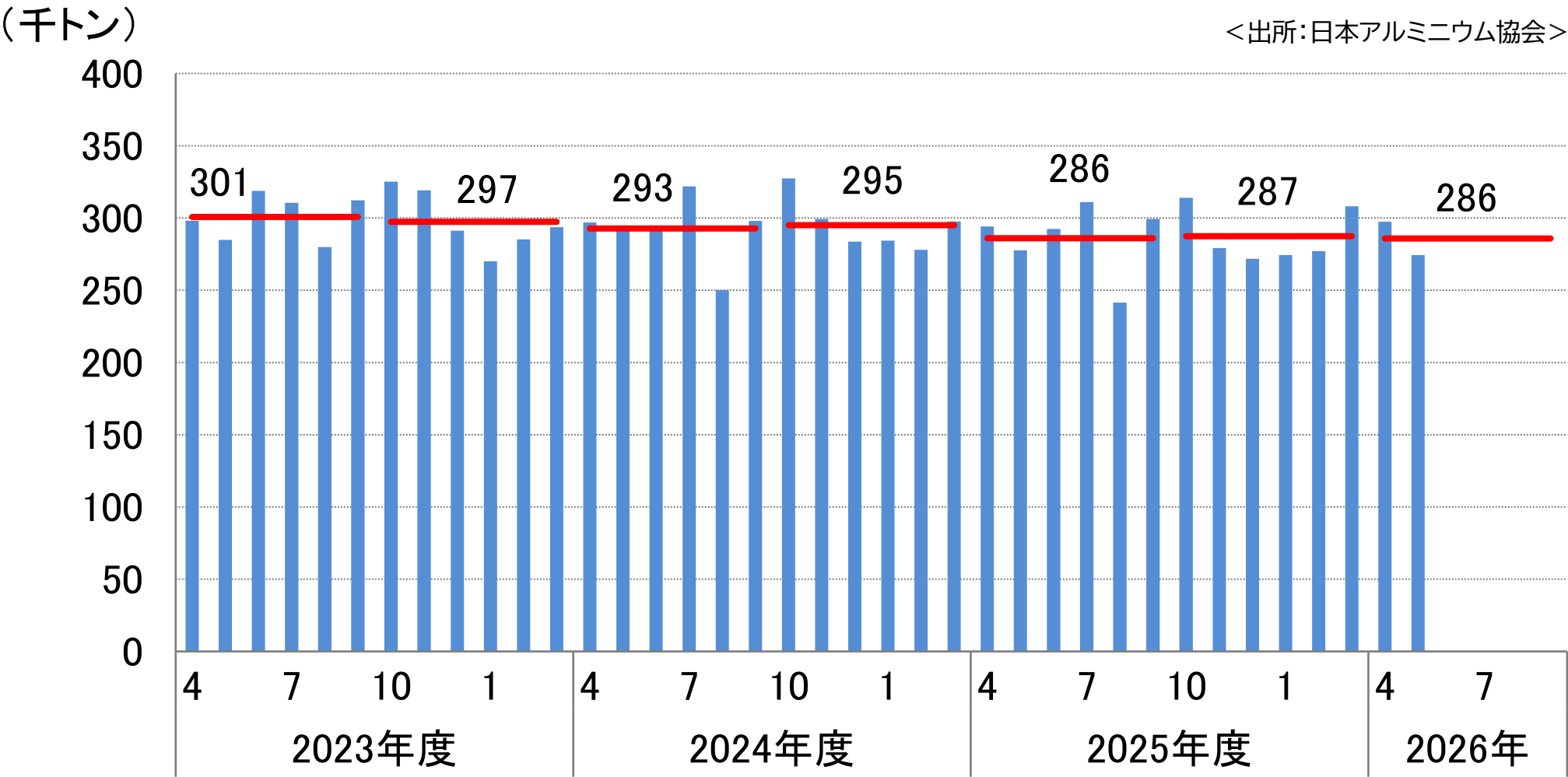
諸元と感応度

	2025年度 実績	2026年度 予想	26/4-6 実績	2026年度 予想見直し	経常利益への 感応度
アルミ地金 (円/kg)	501	689	700	624	10円/kg上昇した場合 △4億円/年
為替 (円/米ドル)	151	156	159	163	10円円高となった場合 ±0 営業利益+7億円/年 営業外損益△7億円/年
ドバイ原油 (米ドル/BBL)	72	70*	91	70	10ドル/BBL上昇した場合 △8億円/年

* 26年度計画策定時の前提を記載

補足資料

国内アルミ製品総需要の推移



補足資料

製品販売量

(千t)

	2025/4～6 実績	2026/4～6 実績	増減
日軽エムシーアルミ(二次合金)	66.0	76.0	+10.0
国内	30.0	36.7	+6.7
海外	36.0	39.3	+3.3
日軽金・板(板製品)	15.8	17.2	+1.4
日軽金アクト(押出製品)	7.2	7.3	+0.1

補足資料

主要会社の業績

(億円)

	2025/4～6 実績			2026/4～6 実績		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属(単体)	400	20	66	473	43	88
東洋アルミニウム(連結)	279	22	20	314	29	29
日軽エムシーアルミ(連結)	267	6	6	432	30	30
日本フルハーフ(連結)	177	3	3	170	△1	△2
日軽金アクト(連結)	90	1	0	98	6	6
日軽パネルシステム(連結)	78	6	7	75	4	4
日軽金ALMO	72	△3	△4	83	4	3

補足資料

主要会社の業績

(億円)

	2025/4～9 実績			2026/4～9 予想		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属(単体)	801	31	76	967	59	97
東洋アルミニウム(連結)	557	37	36	629	44	43
日軽エムシーアルミ(連結)	541	15	16	921	60	60
日本フルハーフ(連結)	370	11	10	373	2	2
日軽金アクト(連結)	179	1	1	202	12	11
日軽パネルシステム(連結)	153	13	14	150	7	8
日軽金ALMO	150	△2	△3	172	3	0

補足資料

主要会社の業績

(億円)

	2025年度 実績			2026年度 予想		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属(単体)	1,636	42	86	1,950	95	131
東洋アルミニウム(連結)	1,134	77	74	1,294	82	78
日軽エムシーアルミ(連結)	1,170	32	36	1,569	75	76
日本フルハーフ(連結)	763	20	20	811	18	17
日軽金アクト(連結)	369	15	15	408	19	18
日軽パネルシステム(連結)	335	34	37	339	28	30
日軽金ALMO	320	0	△2	349	1	△6

本資料についての注意事項

1. 本資料は業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与えうる重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
3. 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。